

2023 年度日本天文学会天文教育普及賞

【授賞者】阿部 昭（あべ あきら）

【活動名】天文趣味と天文学を繋ぐ出版活動、特に「星の手帖」誌の発刊

天文学の普及において市販の出版物の影響力は小さくない。特にインターネット普及以前には書籍・雑誌が天文学の知識・情報を伝え広げる主要な媒体であった。阿部 昭氏は 1960 年代から河出書房新社においてさまざまな天文系出版物を刊行してきた（村山定男・藤井 旭「天文学への招待」（1969 年）／「星座への招待」（1972 年）、藤井 旭「星の旅」（1976 年）、等）。これらの書籍を通じて星空や天文学に親しんだ読者は数知れない。

書籍の出版活動を通じて培われた阿部氏の人脈を基盤として 1978 年夏に創刊された季刊天文誌「星の手帖」は、村山定男・藤井 旭・古在由秀・小尾信彌の 4 名を編集委員とし、当時最前線の天文学と天文趣味とを融合させた雑誌として異彩を放った。各号の特集記事は商業雑誌としては専門性の高い内容で、研究者も多く寄稿していた。現代の天文学と知的な天文趣味とが繋がる先駆的な雑誌であったといえる。

編集長の阿部氏は「星の手帖」誌を発行している間に河出書房新社を退社したが、その後も私財を投じて『星の手帖社』（取締役社長：阿部 昭）を設立し、雑誌発行を継続させた。「星の手帖」誌は 1993 年春号まで 15 年間にわたり発行されて終刊を迎えたが、それから 30 年以上を経た今なお『星の手帖社』は宇宙への関心を広く呼びかけており、入門向け書籍の刊行や天文教育関連商品の開発を精力的に行っている。例えば同社の「組立天体望遠鏡」は書店で入手可能な組み立て式の天体望遠鏡キットであり、2009 年の世界天文年をはじめ現在も天文教育普及の現場で広く活用されている。

「星の手帖」をはじめとする阿部氏の一連の出版活動は他に類を見ないことから、日本天文学会はその功労を称えとともに天文教育普及への長年の貢献に対し感謝の意を表し、2023 年度天文教育普及賞を授与する。